

国公立病院の事務職員の 平均年収は、民間病院の 約1.8倍

【2009年11月5日 日経新聞】

国公立病院

国公立病院の事務職員の平均年収は600万円台で、民間病院の約1.8倍。厚生労働省がまとめた2008年度の医療経済実態調査で、こ

職員年収、民間の1.8倍

改定で、国立などの大病院に手厚く配分する考えだが、格差の是正も課題になりそうだ。

調査対象は独立行政法人の国立病院機構が運営する病院、労災病院、都道府県立や市町村立の公立病院など。個人経営の病院を含め、160の施設から回答を得た。

国立病院の事務職員の平均年収は08年度時点で687万円となり、民間病院の事務職員(351

厚労省08年度調査、平均600万円台 官民の格差 浮き彫り

万円)の1.95倍に達した。公立病院は625万円で、民間の1.78倍。国立病院の看護補助職員も433万円と、民間の1.7倍となった。

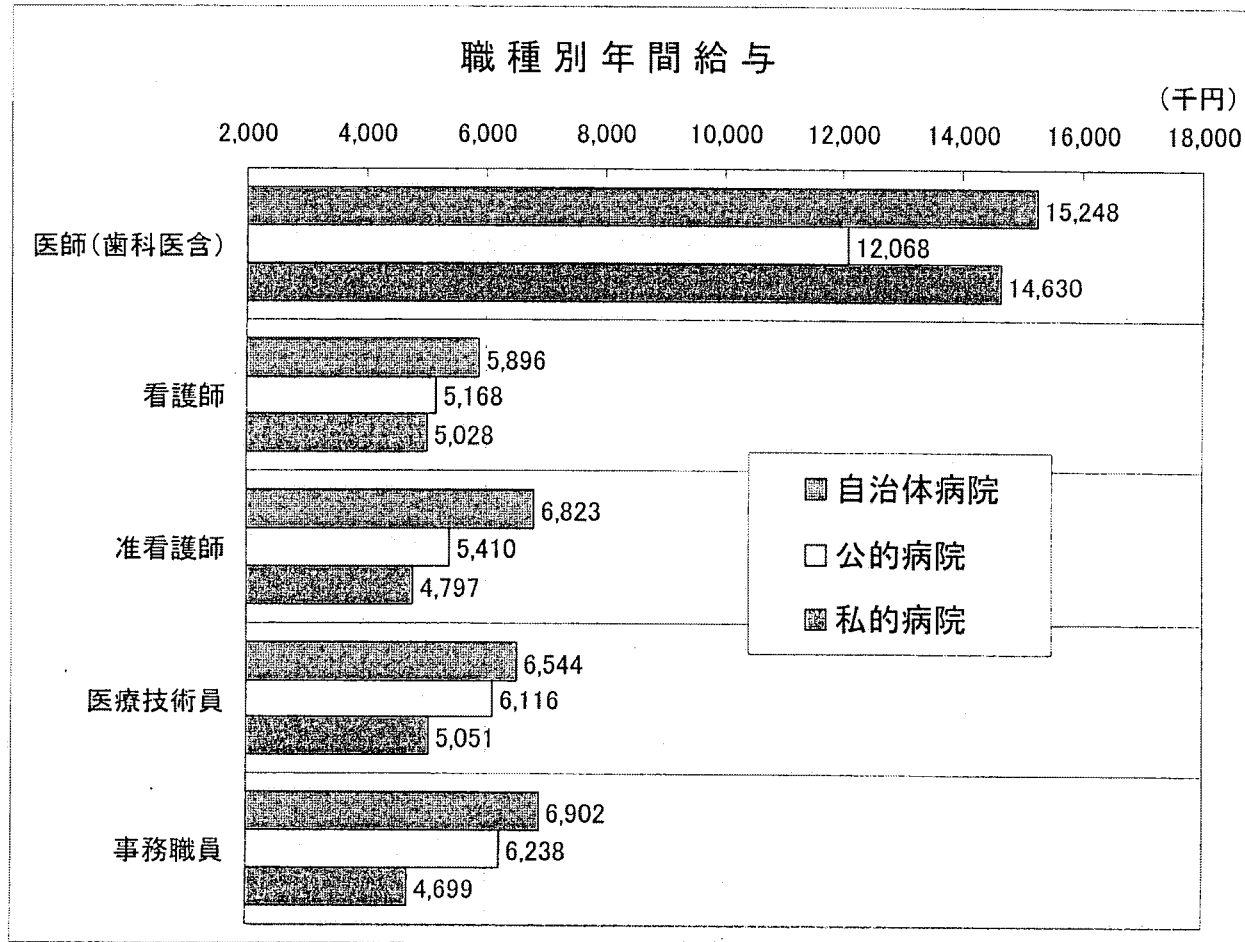
国立病院の医業収益に占める給与費の割合(今年6月の単月ベース)は約59%。国立を除く病院の約53%より高い。公立病院の1施設あたりの損益は6月だけで934万円のマイナスになり、赤字体質が際立つ。

千葉県立病院(7病院と病院局本局)と 東京都立病院の医業収支

平成20年度 見込み	千葉県立病院		東京都立病院	
	金額(百万円)	収益比率	金額(百万円)	収益比率
医業収益	27,170	100.0%	95,401	100.0%
医業費用	37,460	137.9%	138,006	144.7%
医業収益－医業費用	▲10,290	▲37.9%	▲42,604	▲44.7%

(出所) 千葉県病院局「千葉県立病院改革プラン(案)について_平成21年3月25日」を参考に作成
東京都病院経営本部のホームページ「事業概要 平成20年版」を参考に作成

職種別年間給与



(注) 自治体病院(都道府県・指定都市・市町村・組合等)、公的病院(日赤・済生会・厚生連関係病院)、私的病院(医療法人・個人・公益・社会福祉法人等)

(出所) 総務省「地方公営企業年鑑(平成18年4月1日～平成19年3月31日) 第2編統計資料 第2章事業別 6. 病院事業 (13) 職種別給与(平均給与月額)に関する調」、全国病院経営管理学会「2008年版 病院給与・労働条件実態調査 2表-1 平成19年7月職種別所定内・外給与、第5表-4 平成18年年末賞与職種別一人平均支給額、第5表-5 平成19年夏季賞与職種別一人平均支給額」、これらを参考にして年間給与額を試算した。

4 決算

平成20年度決算（勘定）

(1) 損益計算書（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：円）

費	給与費	2,556,314,835	収	入院収益	2,916,810,280		
	材料費	1,178,473,429		外来収益	308,143,457		
	経費	626,746,778		その他医業収益	21,087,168		
	減価償却費	261,262,526		医業収益合計	3,246,040,905		
	資産減耗費	8,324,709		益	受取利息及び配当金	0	
	研究研修費	10,858,318			他会計補助金	0	
	医業費用合計	4,641,980,595			国庫補助金	0	
	用	支払利息及び取扱諸費			28,280,185	負担金交付金	1,848,478,000
		繰延勘定償却			5,560,098	患者外給食収益	12,146,369
		患者外給食材料費			8,530,245	研究受託収益	4,337,773
受託研究費		3,855,302	その他医業外収益		8,751,058		
雑損失		149,961,066	医業外収益合計		1,873,713,200		
医業外費用合計		196,186,896	過年度損益修正益		0		
過年度損益修正損	0	特別利益	0				
特別損失	0	総収益	5,119,754,105				
総費用	4,838,167,491						
当年度純利益	281,586,614						

(2) 貸借対照表（平成21年3月31日）

（単位：円）

資	土地	1,963,258,200	負	未払金	269,149,071	
	建物	4,437,217,495		その他流動負債	15,203,575	
	建物減価償却累計額	▲1,943,962,531		流動負債合計	284,352,646	
	構築物	52,683,220	債	負債合計	284,352,646	
	構築物減価償却累計額	▲40,638,971		資	自己資本金	2,924,383,875
	器械備品	2,341,339,612			企業債	1,837,682,320
	器械備品減価償却累計額	▲1,277,027,453	資本金合計		4,762,066,195	
	車両	18,833,250	受贈財産評価額		670,162	
	車両減価償却累計額	▲11,760,342	寄附金		22,330,702	
	建設仮勘定		補助金		220,661,417	
	その他の有形固定資産	2,900,000	他会計負担金	2,829,495,447		
	有形固定資産合計	5,542,842,480	資本剰余金合計	3,073,157,728		
	電話加入権	122,158	本	当年度未処分利益剰余金	965,523,933	
	長期貸付金	40,000		利益剰余金合計	965,523,933	
	固定資産合計	5,543,004,638		資本合計	8,800,747,856	
	現金預金	989,837	負	負債資本合計	9,085,100,502	
	未収金	587,296,849				
	貯蔵品	39,533,891				
	その他流動資産	0				
流動資産合計	627,820,577					
繰延勘定	47,280,408					
本庁勘定	0					
資産合計	6,218,105,623					

日本の医療機関の国際競争力強化

盲腸手術入院の都市別総費用例

地域	都市名	費用	入院日数
北米	サンフランシスコ	¥2,500,000	(入院2泊3日)
	ニューヨーク	¥2,160,000	(入院2泊3日)
	バンクーバー	¥1,500,000	(入院2泊3日)
欧州	ジュネーブ	¥2,970,000	(入院3泊4日)
	ロンドン	¥1,512,000	(入院2泊3日)
	パリ	¥1,134,000	(入院2泊3日)
	ローマ	¥1,100,000	(入院2泊3日)
	マドリッド	¥972,000	(入院3泊4日)
ハワイ	ホノルル	¥1,950,000	(入院2泊3日)
ミクロネシア	グアム	¥864,000	(入院2泊3日)
オセアニア	シドニー	¥864,000	(入院2泊3日)
	クライストチャーチ	¥864,000	(入院2泊3日)
アジア	香港	¥900,000	(入院2泊3日)
	上海	¥680,000	(入院2泊3日)
	ソウル	¥630,000	(入院2泊3日)
	バンコック	¥400,000	(入院2泊3日)
	(亀田総合病院)	¥395,000	(入院4泊5日)
	北京	¥200,000	(入院2泊3日)

タイや韓国、シンガポール、インドのように「メディカル・ツーリズム」といって、安価で高品質な医療を受けに行く外国人患者を獲得している国もある。

日本の医学レベルの高さとリーズナブルな医療費から、医療提供体制が強化されれば外国人患者の受け入れについて十分競争力を持つことができる。

官民一体となれば、有力な成長産業に育てられる可能性をもっている。

(注) 2008年AIU調べ。総費用は、外国人が私立病院の個室を利用し手術も複雑でない場合を想定。

また総費用は手術費の他、看護費用、技術料等および平均入院日数の病室代を含む。

1US\$=108円で換算し、千円単位に四捨五入。

(出所) AIU保険会社ホームページ「世界の医療事情」を参照して作成。